

福岡県行橋市

BtoBからBtoB+Cに転換し、猫の爪とぎや幼児用玩具等の製造、ネット販売

創業当時より、段ボールの箱や緩衝材を中心に、一般企業向けに製造販売。価格競争の激化、景気、天候、受注先の生産方針によって業況が大きく左右される。持続可能な会社を目指して、会社方針を「BtoB」から「BtoB+C」に転換したことで、経営革新計画の承認（第3775号）、ものづくり補助金により導入されたレーザーカット機を活用することで、高精度な「猫の爪とぎ」や「幼児用玩具」等の製造、ネット販売を展開している。

●所在地	福岡県行橋市今井1133番地	●設立	1962年
●電話/FAX	0930-23-0050/0930-23-0056	●資本金	5,000万円
●URL	http://daikoku-cci.co.jp/index.html	●従業員数	30人
●代表者	代表取締役 寺澤 一光		



デザイン性向上を目指した芸術家とのコラボ商品開発

一般消費者向けとした段ボール製品開発を進めるなか、さらなるデザイン性向上を目標に、福岡県行橋市出身の画廊 九十九伸一氏とコラボレーションを行い、2014年に「クーボウ無次元カプセルシリーズ」、2018年に「sukezoo」を市場投入した。九十九氏は大学卒業後に活動拠点を海外に移している芸術家で、現在スペインに在住していることもあって、2019年からスペインでコラボレーション商品の試験販売を開始している。



芸術家とのコラボ商品

産学連携で商品開発し、ふるさと納税で地域経済へ循環

産学連携を通じて、学生達がデザインした新たな段ボール製品の開発製造販売を行っており、デザインすることの楽しさや難しさを経験してもらうことで、卒業後の社会進出に備えてもらう。その他には、猫の爪とぎといったペット用品やイスや机、遊具といった子供用品などが、地元地域の「ふるさと納税」における返礼品に選定されており、ふるさと納税を利用する方々の寄附金が地域に循環するといった点で、地域経済活性化に貢献している。



猫の爪とぎ(グッドデザイン賞受賞)

経験の蓄積とさらなる技術・知識向上からなる付加価値向上

ペット関連や子供向けのオリジナル商品を自社部門でデザインしており、設計の経験を長年積んだことから、段ボールの新たな使い道、新たな価値を生み出すことができる技術及び知識を蓄積でき、他社が真似のできない高付加価値商品を作りだせるようになった。また、芸術家とのコラボを通じ、芸術性の高いものを作るには、切り口の綺麗さ等、様々なことで完成度の高いものが要求される。そのため、ものを作る技術や梱包する技術に加え、商品のデザイン力、商品を魅せる展示力等、すべてを一貫してお客様に提供できるようになってきている。



子供向けオリジナル商品